

腫瘍科・外来化学療法室

著書

1. 石倉浩人: HIV/AIDS の最近の話題について. 健康のしおりシリーズ
No.21,pp1-14 鳥取大学保健管理センター、鳥取 2003年

学術論文

1. Kumakura S, Ishikura H, Maniwa Y, Munemasa S, Tsumura H, Masuda J, Kobayashi S. Activation of protein kinase C enhances TNF- α -induced differentiation by preventing apoptosis via rapid up-regulation of c-myc protein expression in HL-60 cells. *Leukemia & Lymphoma* 43: 497-503, 2003
2. 熊倉俊一、石倉浩人: 自己免疫関連血球貪食症候群. 炎症と免疫 11: 315-321.2003
3. 石倉浩人、三島清司、造血幹細胞移植グループ: 造血幹細胞移植の新たな展開と当院での取り組み. 島根医学 23(1): 1-11, 2003
4. Aoyama K, Ishikura H, Tsumura H, Watanabe T, Suyama N, Kumakura S, Kobayashi S. Meningeal involvement of chronic myelomonocytic leukemia. *Journal of Neurology*. 250(8):993-4, 2003
5. Kumakura S, Ishikura H, Kobayashi S: Hemophagocytic Syndrome, a Possible Association with Aplastic Anemia?. *Internal Medicine*.42(12): 1262-1264. 2003
6. Kumakura S, Ishikura H, Tsumura H., Kobayashi S: Phagocytosis of terminally differentiated acute promyelocytic leukemia cells by marrow histiocytes during treatment with all-trans retinoic acid. *Leukemia & Lymphoma* 44(12): 2147-2150, 2003
7. 熊倉俊一、石倉浩人: リウマチ・膠原病に合併する重篤な血液疾患. 臨床医 29(12): 2085-2088, 2003
8. 熊倉俊一、石倉浩人、村川洋子、小林祥泰: 《難治性病態の治療戦略》血球貪食症候群. 内科 93(2): 291-298, 2004 (特集 リウマチ性疾患治療の最前線—診断のポイントとベストの治療ガイドライン)
9. Kumakura S, Ishikura H, Kondo M, Murakawa Y, Masuda J, Kobayashi S: Autoimmune-associated hemophagocytic syndrome. (Review Article) *Modern Rheumatology* 14: 205-215, 2004

10. 城有美、熊倉俊一、石倉浩人、小林祥泰: 胸骨痛を初発症状とした急性リンパ性白血病の1例. 内科 94(2): 389-393, 2004
11. 熊倉俊一、石倉浩人: 血球貪食症候群. 内科診療 Q&A 38: 264-267, 2004

学会発表

1. 川上耕史、池田繭子、本郷恵美、角田佳子、宗正昌三、津村弘人、小林祥泰、熊倉俊一、石倉浩人、高橋勉: 胸腺原発 MALT リンパ腫の一例. 第31回島根血液・凝固・免疫症例検討会. 出雲, 2003年1月
2. 石倉浩人: DIC 治療に関するアンケート結果. 第31回島根血液・凝固・免疫症例検討会. 出雲, 2003年1月
3. 本郷恵美、池田繭子、川上耕史、角田佳子、宗正昌三、津村弘人、小林祥泰、熊倉俊一、三島清司、石倉浩人、川内秀之: 多発性肺転移をきたした adenoid cystic carcinoma に骨髄非破壊的同種造血幹細胞移植(ミニ移植)を施行した一例. 第11回山陰造血幹細胞移植研究会. 出雲, 2003年2月
4. 長井篤、石倉浩人、Seung U. Kim、小林祥泰: ヒト不死化骨髄間葉系幹細胞の作製. 第2回日本再生医療学会総会. 神戸, 2003年3月
5. 石倉浩人: 造血幹細胞移植の現状と展望: 第15回島根医科大学医師会学術講演会. 出雲, 2003年3月
6. 高橋勉、津村弘人、小林祥泰、熊倉俊一、石倉浩人: 血球貪食症候群を合併したと思われる高齢者の1例. 第88回日本内科学会中国地方会. 出雲, 2003年5月
7. 石倉浩人: 今、白血病はここまで治る—造血幹細胞移植術の進歩—. 平成15年度市民公開講座. 出雲, 2003年7月
8. 熊倉俊一、石倉浩人、津村弘人、小林祥泰: 骨髄低形成を呈する血球貪食症候群の検討. 第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会. 大阪, 2003年8月
9. 石倉浩人、津村弘人、長井篤、三島清司、熊倉俊一、佐藤幸恵、金承業、小林祥泰: ヒト不死化骨髄間質細胞株 BM10 の樹立と造血細胞増殖・分化支持能. 第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会. 大阪, 2003年8月
10. 津村弘人、本郷恵美、川上耕史、熊倉俊一、小林祥泰、石倉浩人: 頸部

- Diffuse large cell lymphoma で発症し、末期に Angiotropic lymphoma 様の浸潤経過を示した一剖検例. 第 65 回日本血液学会総会・第 45 回日本臨床血液学会総会. 大阪, 2003 年 8 月
11. 高橋勉、津村弘人、熊倉俊一、小林祥泰、石倉浩人: 血球減少症に対する *Helicobacter pylori* 除菌療法の成績. 第 65 回日本血液学会総会・第 45 回日本臨床血液学会総会. 大阪, 2003 年 8 月
 12. 馬庭泰久、津村弘人、角田佳子、小黒浩明、小林祥泰、熊倉俊一、石倉浩人: Angiotropic lymphoma の 2 例. 第 27 回島根造血器腫瘍研究会. 出雲, 2003 年 11 月
 13. 石倉浩人: 造血器疾患における臨床分離株と薬剤感受性の研究. 第 27 回島根造血器腫瘍研究会. 出雲, 2003 年 11 月
 14. 石倉浩人: HIV/AIDS の最近の話題について. エイズ拠点病院及びエイズ対策協力医療機関等職員研修会. 大東, 2003 年 12 月
 15. 本郷恵美、津村弘人、宗正昌三、川上耕史、角田佳子、馬庭泰久、熊倉俊一、小林祥泰、石倉浩人: 多発性肺転移をきたした腺様嚢胞癌にミニ移植を施行した一例. 第 26 回日本造血細胞移植学会総会. 横浜, 2003 年 12 月
 16. 角田佳子、津村弘人、宗正昌三、川上耕史、本郷恵美、池田繭子、馬庭泰久、熊倉俊一、石倉浩人、小林祥泰: 難治性急性骨髄性白血病(M2)にミニ移植を施行した一例. 第 26 回日本造血細胞移植学会総会. 横浜, 2003 年 12 月
 17. 坂根圭子、矢田敦子、若槻晃子、川津千春、北脇清美、陰山美保子、伊藤弘子、石倉浩人、小倉之子: 満足度調査に基づく無菌室看護の方向性. 第 26 回日本造血細胞移植学会総会. 横浜, 2003 年 12 月
 18. 馬庭泰久、門脇秀和、井上政弥、津村弘人、小林祥泰、熊倉俊一、石倉浩人: 発熱・口腔内アフタ・下痢で発症し、診断・治療に苦慮している sIL-2R 血症の一例. 第 32 回島根血液・凝固・免疫症例検討会. 松江, 2004 年 1 月
 19. 井上政弥、津村弘人、馬庭泰久、熊倉俊一、三上千恵、三宅隆明、田中順子、加藤譲、小林祥泰、石倉浩人: 当院における Rituximab の使用経験. 第 43 回日本血液学会中国・四国地方会. 出雲, 2004 年 3 月
 20. 熊倉俊一、馬庭泰久、井上政弥、津村弘人、小林祥泰、石倉浩人: 巨大血小板症の 1 例. 第 43 回日本血液学会中国・四国地方会. 出雲, 2004 年 3 月
 21. 津村弘人、山口修平、小林祥泰、熊倉俊一、石倉浩人: 高齢者 Angiotropic lymphoma の 2 剖検例. 第 101 回日本内科学会講演会. 東京, 2004 年

4月

22. 石倉浩人：造血幹細胞移植の現状と展望．平成16年度島根県病院薬剤師会学術研修会．出雲，2004年4月
23. 津村弘人、井上政弥、馬庭泰久、小黒浩明、小林祥泰、石倉浩人、熊倉俊一：肺塞栓症を合併した Primary Intracranial lymphoma の1剖検例．第90回日本内科学会中国地方会．倉敷，2004年5月
24. 熊倉俊一、石倉浩人：自己免疫関連血球貪食症候群の治療戦略～自験例および報告例よりの検討～.リンパ系樹状細胞系 3 学会合同学術京都大会．京都，2004年7月
25. 有地直子、米田達明、浦上慎司、岸浩史、椎名浩昭、井川幹夫、井上政弥、馬庭泰久、津村弘人、石倉浩人、小林祥泰、熊倉俊一：PBSCT 併用超大量化学療法が奏効した精巣腫瘍の1例．第9回 PBSCT 研究会．出雲，2004年9月
26. 馬庭泰久、井上政弥、津村弘人、小林祥泰、熊倉俊一、石倉浩人：骨髓線維合併多発性骨髓腫に対し自家末梢血幹細胞移植術を施行した一例．第66回日本血液学会総会、第46回日本臨床血液学会総会．京都，2004年9月
27. 井上政弥、馬庭泰久、津村弘人、小林祥泰、熊倉俊一、石倉浩人、高橋勉：当院における high risk 非ホジキンリンパ腫に対する PBSCT 併用大量化学療法の有用性．第66回日本血液学会総会、第46回日本臨床血液学会総会．京都，2004年9月
28. 三島清司、熊倉俊一、田中順子、石倉浩人、益田順一：MAP輸血後に血小板減少と溶血をきたした1症例．第49回日本輸血学会中国四国地方会．徳島，2004年10月
29. 熊倉俊一、近藤正宏、村川洋子、石倉浩人、小林祥泰：シンポジウムテーマ：リウマチが重症化しないために－EBM による治療を目指して－.「ステロイド」．第15回日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会．岡山，2004年11月
30. 松田高志、礪部威、河野秀和、高畠利一、小黒浩明、津村弘人、石倉浩人、古田賢司、天野祐二、内田信恵：胸部単純 X 線写真で指摘困難な右肺癌に生じた気管支食道瘻の1例．第91回日本内科学会中国地方会．米子，2004年11月
31. 津村弘人、井上政弥、馬庭泰久、小林祥泰、石倉浩人、熊倉俊一：Large

- granular lymphocytic leukemia NK-cell type の1例. 第91回日本内科学会中国地方会. 米子, 2004年11月
32. 津村弘人、井上政弥、馬庭泰久、小林祥泰、熊倉俊一、石倉浩人: Primary Effusion Lymphoma (PEL) の1例. 第29回島根造血器腫瘍研究会. 出雲, 2004年11月
33. 井上政弥、馬庭泰久、津村弘人、小林祥泰、石倉浩人: 菌状息肉腫に対して同種造血幹細胞移植後発症した T 細胞性 LPD の一例. 第27回日本造血細胞移植学会総会. 岡山, 2004年12月
34. 馬庭泰久、井上政弥、津村弘人、小林祥泰、石倉浩人、有地直子、米田達明、井川幹夫: 進行性精巣腫瘍に対して施行した自家末梢血幹細胞移植併用超大量化学療法 of 2例. 第27回日本造血細胞移植学会総会. 岡山, 2004年12月